

「ラブ&ハッスル」の精神で邁進 病児保育に対応する耳鼻咽喉科

院長 蒔苗 公利 × 俳優 萩原 流行



SAMPLE



萩原 この春、耳鼻咽喉科と病児保育施設を同時にオープンされた蒔苗院長。クリニックで病気のお子様を預かるという形態は全国的にも珍しいですが、小さなお子様を抱えて働く親御さんにはとても有り難いですし、社会的にも有効なサービスだと思えます。預かったお子様の症状が急変した場合もすぐ院長に診てもらえるわけですから、お子様を託すお父さん、お母さんは本当に安心ですね。

蒔苗 当クリニックが併設する病児保育施設「マミースマイル」は、大館市の委託事業となっております。お子様のいらっしゃるスタッフを大勢雇用する地元企業の関心も高く、施設の概要などについて開設当初から様々なお問い合わせを頂いています。また、小児科に次いで小さい患者様が多いのが耳鼻咽喉科です。治療させて頂くだけでなく、より積極的に地域のお父さ

ん、お母さんの笑顔を応援できればと考えています。

萩原 病児保育の申し込みは毎日あるのですか。

蒔苗 平均して一日三名のお子様をお預かりしており、保育士三名と専任看護師一名の態勢でサポートさせて頂きます。最大で六名までお預かりすることができませんので、お子様が急に熱を出すなど体調不良になっても、悩まずに安心して「マミースマイル」へご相談頂きたいと思えます。

萩原 さて、クリニックは白とピンクを基調に清潔で明るく、しかも个性的です。待合室や診察室のスペースも非常にゆったりしており、医療機関にありがちな圧迫感がまったく感じられないので気持ちが良いですね。

蒔苗 ありがとうございます。当院のコンセプト《ラブ&ハッスル》をあらゆる面から皆様にお伝えしたいと、内装や外装のデザインには相当こだわりました。点滴室やネブライザーのスペースはパーテーションで区切り、患者様のプライバシーにも配慮してありますので、少しの間でも周囲を気にせず快適お過ごし頂きたいですね。

萩原 機器類も最新のものを導入しておられるそうで、患者様に向けた院長のストレートな愛情が院内に満ちあふれているようです。

蒔苗 開業するまで私は勤務医をしていましたが、恩師や先輩のお陰で得た知識や経験を、患者様のために精一杯生かせるよう邁進してまいります。

萩原 ところで、耳鼻咽喉科を受診される患者様の症状は時代や環境の影響で変化していると思うのですが、最近はどうな症状が目立ちますか。

蒔苗 症状というより現在の日本は高齢社会なので、耳鼻咽喉科もお年寄りの患者様が急増しています。私が医師になりたての頃は八十歳を超えた方を診察する機会がほとんどなかったことを思えば、「時代は変わったな」とひしひしと感じますね。お年寄りには耳鳴りや舌の違和感など病氣一歩手前の症状を訴えられることが多いのですが、様々なお声に真摯に耳を傾け、皆様を元気に快適な毎日を送らせるよう、できる限りのサポートをさせて頂きます。

萩原 培ってこられたキャリアを耳鼻咽喉科や病児保育で存分に発揮して頂き

たいものです。最後に将来へ向けての目標や夢をひと言お願いします。

蒔苗 医療とは直接関係ありませんが、地域の祭事やイベントに積極的にかわり、大館市の地域活性化を側面から支える役割も担いたいと思っています。例えば、広く取ってある駐車場に地域住民の方々をお呼びし、賑やかに盆踊りを開催するなどして、医療とエンターテインメントの接点なども探ってみたいですね。

萩原 皆様の健康を支えながら地域を盛り上げるとは素晴らしいです。末永いご活躍を心より期待しています。

たいものです。最後に将来へ向けての目標や夢をひと言お願いします。

蒔苗 医療とは直接関係ありませんが、地域の祭事やイベントに積極的にかわり、大館市の地域活性化を側面から支える役割も担いたいと思っています。例えば、広く取ってある駐車場に地域住民の方々をお呼びし、賑やかに盆踊りを開催するなどして、医療とエンターテインメントの接点なども探ってみたいですね。

萩原 皆様の健康を支えながら地域を盛り上げるとは素晴らしいです。末永いご活躍を心より期待しています。



SAMPLE



SAMPLE



白とピンクを基調とした清潔感あふれる外観が印象的



SAMPLE